

# 主日礼拝

2024年12月29日  
午前10時30分

## 前奏

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「主はわたしの光、わたしの救い  
わたしは誰を恐れよう。  
主はわたしの命の岩  
わたしは誰の前におののくことがあろう。」  
(詩編 27:1)

## 頌栄 27 「父・子・聖霊」



ち ち 子 せ い れ い の ひ と り の ま よ、 さ か え と ち  
か ら は た だ ま に あ れ、 と こ し え ま で。

アーメン。

## リタニー「クリスマスのリタニー②」

司式者：ひかりのイエスさま、  
会衆：わたしたちの心を、明るく照らして  
ください。

司式者：希望のイエスさま  
会衆：わたしたちに、喜びをください。

司式者：平和のイエスさま  
会衆：やさしい心を、与えてください。

司式者：愛のイエスさま、  
会衆：どんなときもそばにいてください。

司式者：クリスマス、  
会衆：神さまからのプレゼント！  
一緒に：神さま、イエスさまをありがとう。  
アーメン。

## 賛美 258-1,3,4,5 「まきびとひつじを」



The first Nowell the angel did say  
詞：イギリス・キャロル、18世紀  
曲：イギリス・キャロル、17世紀

ま - き - び - と - ひ - つ - じ - を  
は - じ - め - て - て - ん - し - は

み - ま - も - る - そ - の - よ - る、  
ノ - エ - ル - を - つ - た - え - た。

(くりかえし)  
ノ - エ - ル、ノ - エ - ル、ノ - エ - ル、ノ - エ - ル、  
主 イエ ス は - う ま - れ - た。

- |  |  |
|--|--|
| 1 まきびとひつじを 見守るその夜、<br>はじめて天使は ノエルを伝えた。<br>ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、<br>主イエスは生まれた。 | 4 喜びあふれて 東の博士は<br>主イエスを拝んで 宝をささげた。<br>ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、<br>主イエスは生まれた。       |
| 3 博士は輝くその星たよりに<br>はるばるまぶねの 主イエスを訪ねた。<br>ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、<br>主イエスは生まれた。   | 5 われらもこよいは 歌声合わせて<br>平和をもたらす 主イエスをたたえよう。<br>ノエル、ノエル、ノエル、ノエル、<br>主イエスは生まれた。 |

※「ノエル」は「クリスマスの歌・しらせ」の意味。

## 祈禱

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」



キ リ エ エ レ イ ソ ン キ リ エ エ レ イ ソ ン  
し ゅ よ あ わ れ み を し ゅ よ あ わ れ み を

キ リ エ エ レ - - - イ ソ ン  
し ゅ よ あ わ れ - - - み を

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 マタイによる福音書 2:1~12 新約(新共同訳) p2

1 イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、2 言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」3 これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。4 王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。5 彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。6 『ユダの地、ベツレヘムよ、お前はユダの指導者たちの中で決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」7 そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。8 そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。9 彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。10 学者たちはその星を見て喜びにあふれた。11 家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。12 ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

賛美 279 「ふるさとを離れて遠く」

De tierra lejana venimos  
詞：フエルトリコ・キヤロル 曲：フエルトリコ・キヤロル

ISLA DEL ENCANTO  
詞：フエルトリコ・キヤロル 曲：フエルトリコ・キヤロル

1 ふるさとを離れて遠く、  
主のもとに星は導く。  
ゆくてにはきらめく星が、  
新しい夜明けを告げる。  
栄光は御子なる神に、  
地上には愛と平和。

2 輝ける黄金ささげ、  
たたえよう、御子の栄光を。  
ゆくてにはきらめく星が、  
新しい夜明けを告げる。  
栄光は御子なる神に、  
地上には愛と平和。

3 かぐわしい乳香ささげ、  
供えよう、われらの祈り。  
ゆくてにはきらめく星が、  
新しい夜明けを告げる。  
栄光は御子なる神に、  
地上には愛と平和。

4 もつやく没薬をみ前にささげ、  
備えよう、主の苦しみに。  
ゆくてにはきらめく星が、  
新しい夜明けを告げる。  
栄光は御子なる神に、  
地上には愛と平和。

説教 「すべての人に開かれるクリスマス」

賛美 271 「喜びはむねに」

Nu evigt väl, nu evigt väl!  
詞：Carl O. Rosenius, 1816-1868 曲：Jean Sibelius, 1865-1957

1 よろこびはむねに、  
かなしはむねに、  
主イエスは、  
よろこびはむねに、

2 あまじきこの恵みよ、  
神のひとり子が、  
わたしの兄弟と

3 主イエスを離れて、  
どうしてわたしは、  
はかりも知られぬ、  
主イエスの恵みは

4 喜びはむねに、  
すべての人々、  
栄えの座を捨て、  
馬槽のなかに

1 喜びはむねに 満ちあふれる、  
あまりに大きい この恵みよ。  
神のひとり子が この世に生まれて  
わたしの兄弟と なられたから。

2 悲しみうれいに 沈むときも、  
ささえてくださる 神の恵み。  
み子なる主イエスは 神のみもとから  
愛のまなざしで みまられる。

3 主イエスを離れて ただひとりで  
どうしてわたしは 生きられるか?  
はかりも知られぬ 深い罪さえも、  
主イエスの恵みは おおい包む。

4 喜びはむねに 満ちあふれる、  
すべての人々 主をあがめよ。  
栄えの座を捨て 神のひとり子は  
馬槽のなかに 身を置かれた。

派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 泉 克行  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。